

レオ電子株式会社  
三十周年史挿話





1991年、中国・深圳市の雷歐電子有限公司(LES)開所式にて



〇社向けプリンター電卓



TT社向けプリンター電卓



香港雷歐電子有限公司 (LEH) のオフィス



ビル外観 (LEH)



受付 (LEH)



エレベーターホール (LEH)



深圳市の新雷欧电子有限公司 (NLE) 事務所



NLE 事務所



NLE工場L棟東側



NLE工場L棟南側



SMT製造ライン



NLE の製造組み立て現場



NLE の IQC(受け入れ検査) 検査風景



NLE の製造組み立て現場



TEXAS INSTRUMENTS 2000  
Supplier Excellence Award

TEXAS INSTRUMENTS  
EDUCATIONAL AND PRODUCTIVITY  
SOLUTIONS GROUP  
2000 SUPPLIER EXCELLENCE AWARD WINNER



With compliments to  
LEO Electronics Co. Ltd.  
International Procurement Office of Ascom

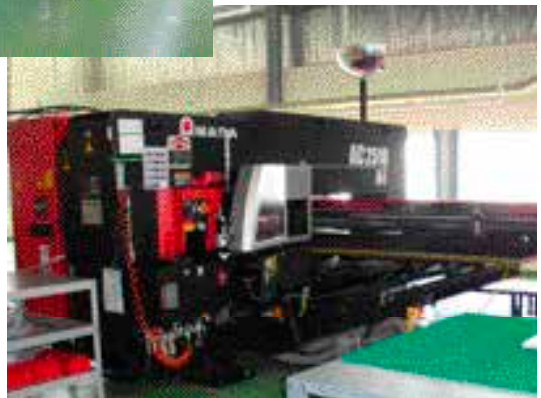


2006年に設立されたLEO ELECTRONICS(VIETNAM)LTD.(LEV)

工場設備プレス (LEV)



工場内の休憩場所 (LEV)



工場設備タレパン (LEV)



2007年11月、中国工場訪問



中国工場現地社員と会食



2007年11月、ベトナム工場で記念植樹





著者近影(2010年3月、本社にて)

レオ電子株式会社  
三十周年史挿話

中馬 宏允

(レオ電子株式会社 前社長 現相談役)



## 序

レオ電子創業30周年に当たり書きましたこの小誌は良くも悪くもレオ電子の歴史であり、同時に私の半生の記録でもあります。社員の皆さんおよび関係していただいた方々がどう読み、どう評価していただくかはとも角として、私の今の願いはこの会社がこれからも永く続いて、携わる社員がレオの社員であることに誇りを持てる会社であってほしいということです。ここに書きました内容は、私の記憶する限り正確に書いたつもりですが、多少の間違いや記憶違いはあろうかと思えます。その点、ご容赦いただきたいと思います。

中馬宏允

## レオ電子株式会社 三十周年史挿話

- 一、 レオックスの設立
- 二、 レオックスのスタート
- 三、 レオックスの初期とレオ電子の誕生
- 四、 O社米国支社との取引開始
- 五、 英国支店およびユーゴスラビア代理店との取引  
レオ電子のスタート
- 六、 過半数の株取得
- 七、 中国進出と宝安县雷欧電子廠の誕生
- 八、 M社グループへの参入
- 九、 T社向けP P C（普通紙複写機）の製造開始と雷欧電子（深圳）  
有限公司設立
- 十、

- 十一、P P C工場L E Sの株の譲渡
- 十二、レオックスとレオ電子の合併
- 十三、I S O認定取得とT T社向け製品製造
- 十四、T C社との新たな事業と新雷欧電子（深圳）有限公司の設立
- 十五、N L Eの初期
- 十六、T C社向けP O Sの生産とN L Eの繁忙
- 十七、R T社との取引
- 十八、I S O・9 0 0 0 / 2 0 0 0と1 4 0 0 0取得
- 十九、H社、H O社との取引
- 二十、ベトナム工場誕生
- 二十一、終わりに

## 一、レオックスの設立

1980年（昭和55年）3月11日、まずレオックス株式会社（プリンター付き電卓の輸出を専業とする会社で、後にレオ電子と合併）を東京・新宿にある花園神社近くのマンションの一室に設立した。「レオックス」とはどういう意味かと人によく聞かれたが、社名は私が考えたものではなかった。それは私がある会社に勤務していた時の同僚たちが、私から設立しようとしている会社の社名を考えようと集まってくれた席で、一人の口からふと出てきた名前である。後々多くの人たちから名前の由来を聞かれたとき、私がこじつけで「レオックスとは獅子（LEO）と牛（OX）のことで、その意味は時に勇敢に、また時に着実に」という意味だと説明し、ようやく納得してもらった。大げさに言えば人から頂いた名前に私が命を吹き込んだということになる。その後、レオ電子